

グループ別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/20 サロン5丁目		
分類	NO.	テーマ	対象地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
地域づくり	1	集会所の建て替え・改修について	高花	集会所を利用して皆で集まっていますが、もう少し広い場所があるといいなと思う。建て直す場合に、市からの補助金があるといい。	改修や建て替えに関する補助金については、持ち帰って確認します。	集会施設整備事業補助金の改正案の概要として、既存集会施設のバリアフリー化、床材変更、防水、間取り変更等を対象とする改築・改修事業を新たに設け、併せて、既存の新築事業については、1㎡当たりの補助基準額を増額したいと考えています。 令和7年2月現在、各町内会等を対象に実施したアンケート調査を集計済みで、改めて改正案を検討します。その上で、集会施設整備事業補助金交付要綱を改正・周知し、例年8月に行っている各町内会等への集会施設整備要望調査において、整備要望を取りまとめ、取りまとめた翌年度の当初予算に反映したいと考えています。	市民活動推進課
地域づくり	2	集会所の建て替え・改修について	高花	ちょきん体操をやるのに、もっと広い場所が必要だということで、建て替えようと思ったんですね。しかし去年1年間、いろんな住宅メーカーに問い合わせせて予算も取ってやったんですけど、今の補助金では安全な集会所を建て直すことは無理だという結論に達しました。やはり今の補助金の額というのは、建て替えを諦めざるを得ないような状況です。私たちの貯金を足しても間に合わないという住宅資材の値上がりで、今の補助金では間に合わないものになっています。	あと、コミュニティセンターの件ですが、今ある施設をどう活用するかについても考えなければならないと思っています。例えば4丁目や1丁目の住民の方の意見を聞きつつ、URの集会場を使えないかなど、視野を広げて柔軟な発想を持つ必要があると思います。サザンプラザや図書館のような施設を新しく作るには、最低でも10年かかります。皆さんのお悩みに迅速に答えることが大切ですので、発想を柔軟に広げてみます。難しいことも多いですが、どうにかできることを考えて取り組んでいきます。		市民活動推進課
地域づくり	3	集会所の建て替え・改修について	共通	集会場を建て直すということはお金もかかることだし、また、この自治会員たちが負担する部分も出たりしますので、自治会全員が一致して、やろうということになるかどうかという問題もあるので、非常にそれは今難しい感じになっている。	例えば、水道の問題についても同様なんです。給水区域を広げて水を供給する手段がありますが、目的は全ての方に安心安全な水を届けることです。その目的をしっかりと考えた上で、今最速で何ができるかを検討する必要があります。給水道を引くのには数年かかるため、ウォーターサーバーなどに助成することで迅速に安心な水を提供するなどの発想も必要になってきます。		市民活動推進課
地域づくり	4	集会所の建て替え・改修について	共通	改修については現在、補助金がありません。去年、議会で補助金を800万円まで出す提案がなされたという話がありますが、まだ実現していないため、早急に実現してほしいと考えています。また、トイレの改修も検討しています。	コミュニティセンターについては、まずは郵便局などを含め活用できる施設から考えていきます。		市民活動推進課
地域づくり	5	集会所の建て替え・改修について	高花	サロン活動では、おしゃべりするだけでなく、他にも有意義なことをしようということで、「ちょきん体操」を始めました。コロナの影響で人数制限が設けられたため、一度に全員が参加できず、2部に分けて行っていました。現在も3部に分けて実施しています。制限がなくなったとしても、スペースが狭いため、3部構成でないと活動が難しい状況です。もしもっと広い場所があれば、一度に皆で活動を行うことができるのではないかと考えています。		—	市民活動推進課
地域づくり	6	コミュニティセンターについて	高花	地域のコミュニティーセンターはサザンプラザがありますが、やはり遠いです。高齢になると、車を手放す人が多くなり、自転車も危険です。歩いて行くのも、非常に足の丈夫な人でなければ難しいです。それでも皆さんは元気でいたいので、いろいろな活動に参加していますが、高花にはコミュニティーセンターがありません。 グラウンドゴルフやボッチャなど、一生懸命にやっている人たちがいますが、コミュニティーセンターがあればもっと充実した活動ができると考えています。コミュニティーセンターの設置を希望しています。		—	市民活動推進課

分類	NO.	テーマ	対象地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
地域づくり	7	コミュニティセンターについて	高花	コミュニティセンターは、子供たちが集まる場所としても必要です。これは高花小学校や船穂中学校の校長先生からも要望が出されています。子供たちが安心して集まり、私たち大人も見守ることができる場所が求められています。 現在、子供たちは核家族化の影響や先生たちの働き方改革で、学校に長くいることが難しい状況です。案として、コミュニティセンターにキッチンを設置し、料理を教える人が子供たちに教えながら食事を提供することができると考えています。 また、図書館が併設されていれば、子供たちは料理の本を利用して学ぶことができ、パソコンも使える環境が整えば、さらに幅広い学びが可能になります。地域の中で教える人も増えてくるかもしれません。	地域コミュニティの維持が重要だと考えています。高花5丁目はニュータウンの中でも在来地区として人々のつながりが強く、温かみのある地域だと思います。しかし、そうした地域においても、コミュニティの維持は難しいという意見を多くの方から伺っており、認識しているところで	—	市民活動推進課
地域づくり	8	コミュニティセンターについて	高花	高花ができた頃にコミュニティセンターを作ろうという話がありましたが、結局、船穂に先に作られてしまいました。現在、船穂のコミュニティセンターには歩いて行くのは難しい状況です。		—	市民活動推進課
地域づくり	9	世代間の交流の場所づくりについて	共通	ここのニュータウンというのはゴーストタウンになるというのが一番心配です。 高花地区、木下もそうですけど、高齢化が進んでいるところにもっと、そういう意味での投資をして、子供たちと高齢者が交流をできるようなところを作れば、子供たちが大きくなっても住み続けてもらえるような地域になって初めて、ニュータウン事業を成功と呼べるんじゃないかなと思います。		—	市民活動推進課 企画政策課
地域づくり	10	地域のつながりづくりについて	高花	つながりをもっと深めたいんですね。1丁目から6丁目までありますが、自治会同士のつながり、そして高花に住んでいる人たちのつながりが欲しいんです。		—	市民活動推進課
地域づくり	11	高花郵便局について	共通	近くに郵便局がありますよね。地震の前は図書館があって、食堂があったりして、そこでご飯を食べたりできたんです。地震の後は全部閉鎖されてしまいました。例えばそこを再び解放してもらえれば、広いスペースを活用してポッチャなど様々な活動ができると思います。費用もかからないですし、コーヒーも楽しめますし、とても良いのではないかと考えています。	郵政省の話は、他の方からもご指摘があるので、今確認をしています。また、市内には東京電機大学がありますが、そちら福田電機さんの体育館、講堂があります。そこは今、老朽化で使えなくなっているので、こちらでも確認していきたいと思います。	市から郵便局に確認させていただきました。同施設については、東日本大震災以降、施設の老朽化により使用できない状態にあり、貸出していないとのことです。	企画政策課

分類	NO.	テーマ	対象地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災・防犯	12	移動手段について	共通	私はもう自転車には乗れないし、運転もできません。遊びに行くといえば、イオンやジョイフル本田に行くくらいしかありません。さらに、遊びだけでなく、買い物や病院のためにも外出しますが、かかりつけのクリニックまで歩くと30分もかかってしまいます。	足の問題についてですが、多くの方が車を手放している中で、路線バスの本数が減少している現状は深刻です。この問題を再考する必要があると考えています。 高花地区では路線バスの路線も含め、様々な問題があります。例えば、3丁目や2丁目を通るバスが少ないことや、バスの本数が減少していることです。私も循環バスを導入すれば解決できるのではないかと考えていましたが、民業圧迫の観点から、民間事業者の活動を優先する必要があることがわかりました。 それでも、来年の後半にはニュータウンの464沿いにある医療機関を循環するコミュニティバスの導入を検討しています。交通政策課と議論する際には、高花地区や木刈地区の方々の声を例に出しています。まずは病院を回る循環バスを市で導入することが第一歩だと考えています。 もう一つの取り組みとして、本埜地区ではバスが通っていないため、テスト的にタクシーの助成を始めました。これを調整区域と呼ばれるニュータウン以外のエリアに来年度広げる予定です。しかし、高花地区にはまだ導入されていません。今後、高花などのニュータウン地区での取り組みも検討していきます。 乗り合いタクシーやライドシェアの導入も検討しています。ニュータウン地域でタクシーが不足している中で、長期的な視点でこのような解決策を模索しています。 来年度すぐに高花の方々に変化を示すことは難しいですが、少しずつ進めているところです。	—	交通政策課
インフラ・防災・防犯	13	自主防災委員会について	高花	高花5丁目において、2012年に自主防災委員会が発足し、今年で12年目を迎えます。これまで、防災に関する取り決めやマニュアル作りを進めてきました。自主防災委員会は年に数回開催していますが、発足当初は年に8回開催していました。最近では、1回程度しか開催していません。 その代わりとして、有志のメンバー8名が集まり、プロジェクトチームを結成してさまざまなマニュアル作りを進めています。 今後、もし大地震が起きた際には、高花5丁目を含め、高花地区の皆さんが土地の広さを活かして在宅避難するのが最善ではないかと考えています。そのため、5丁目では特に在宅避難に関するマニュアル作りを進めています。	防災については、現在の市の防災体制ではまだまだやれることが多いと感じています。今後、何をどの順番で行うかを考え、準備していくためのロードマップを防災課に作成してもらっています その中で、高花5丁目の取り組みについてもお話を伺い、全市として同様の取り組みを進めていけるようにしたいと考えています。 現在、議論に上がっているのは、各地域で11万人の市民を市役所の800人ほどの職員で守り切ることが物理的に難しいという点です。各地域で一定程度の防災体制を整えるためには、備品や組織を作るための支援が必要です。現在の備蓄や組織体制については持ち帰って確認を進めます。 印西でも首都直下型地震のような大きな震災がいつか起こる可能性があります。地盤が固いため安心だと言われていますが、揺れるときは揺れます。一番のリスクは火事だと思います。避難所で全員を受け入れることは難しいため、在宅避難が中心になります。今取り組まれていることは非常に素晴らしいことだと思いますので、それを支えられるように戻って共有し、議論を進めます。	能登半島地震等を踏まえ、より、機能的かつ実効性ある体制の構築を進めてまいります。	防災課
インフラ・防災・防犯	14	自主防災委員会について	高花	現在、災害対策として検討しているのは、震度5強以上の地震が発生した時に声かけ班のメンバーを集会場に集めるというものです。11区まである各家庭を訪問し、安全確認を行うために、話し合いを進めています。 役員と幹事だけでは22名しかおらず、人手が足りません。そのため、各区の応援隊を募り、現在16名が集まりました。これにより、各区を3人ずつで回ることができる見込みです。	共助についても、地域のつながりが重要です。自助は自ら助ける、公助は市役所などの公的機関が助けることですが、共助は地域の人々が共に助け合うことです。これを支えてくださっている方々（主婦の方や働きを終えられた先輩方など）が、現在は働きに出ているため、共助を守ることが構造的に難しくなっています。これは地域にかかわらず、全ての地域で課題となっています。このことについても、市としてもできること、地域防災の体制づくりについて議論を進めてまいります。	—	防災課

分類	NO.	テーマ	対象地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災・防犯	15	自主防災委員会について	高花	高花地区自主防災会を何年か前に発足し、高花地区連合会という会があり、それが二か月に一回開催されていました。その会議の前に同じメンバーもしくは防災担当がいる場合、防災担当も参加し、各自治会の会長、副会長、防災担当の人が集まって、高花小学校が避難所として指定された際の運営方法について話し合ってきました。 その運営方法についてはほぼ目途が立ったため、今年の春には防災会として集まらなくてもいいのではないかと連合会で話し合われました。もし防災に関する話題が出た際には、私が中心となって話を進めていく予定です。		—	防災課
インフラ・防災・防犯	16	消火器の補助金について	共通	一番怖いのは火事です。火事が起こったら怖いので、火事さえ出さなければ在宅避難で大地震を乗り切れるだろうということで、火事の対策について話し合いを進めています。ごみ集積所に消火器を2台ずつ設置し、今後も増やしていきたいと考えています。しかし、予算がないため、その部分についての支援が欲しいところです。		自主防災組織の活動に対しまして、更新助成及び活動助成等の制度がございます。ご活用いただけるよう周知に努めていきます。	防災課
インフラ・防災・防犯	17	建築基準について	高花	建築基準についてですが、高花地区の住民は高齢化が進み、子供たちが家を出て行っています。そのため、空き家が不動産業者に購入されると、そこには二軒の家が建てられることがあります。家と家の間隔が50センチしかない状況が見られますが、これをやめてほしいと考えています。火事が起きた場合、すぐに燃え移ってしまう危険性があるためです。	この問題は、最終的に皆さんがどうしたいかというところにかかっています。6丁目でも同様の話がありましたし、木刈4丁目ではすでに地区計画を変更しました。それを変えられるのは地域の皆さんだけです。 市としては当然支援しますし、いろいろなご提案はできますが、最終的には地区計画を変更して、ある程度の規模の家を維持するか、それとも分けた方が短期的にはやりやすいという意見もあるのかもしれませんが。その点についてはぜひ5丁目の方々と話し合ってください、決定していただくのが良いと思います。 木刈の例もありますので、それを参考にしていいただければと思います。	—	都市計画課
インフラ・防災・防犯	18	地区計画の変更について	共通	地区計画の変更についても、地区全体の署名を集めるのは厳しい状況です。住民の中には既に引っ越してしまった人や不在の人もいるため、署名を3分の2も集めようとすると、登記簿や署名をすべて集めなければならない、現実的には不可能です。 他の地域でも同様に反対意見が多く、実現できなかったと聞いたことがあります。3分の2の署名を集めるのはもう無理です。 市にも責任があるので、何か対策をしていただきたいです。やはり高齢になると家を維持するのが難しくなり、最終的には売却するしかなくなります。施設に入居するためのお金も必要ですしね。	例えば、駅前の一等地の開発等については、市としてどのように動けるか方向性を検討していきたいと考えていますが、住宅地については、市の独断では決められないため、住民の皆さんの意見が重要です。今日の話を聞いて、どうしたら良いか考えています。これは難しい問題ですね。皆さんの中で3分の2の署名を集めるのが難しい状況なのは理解しましたので、持ち帰って都市計画課と話し合ってみます。	地区計画の変更は原則として住民の方々が中心となって検討を進めるものではありませんが、行政としてどういった対応ができるのか引き続き検討していきたいと思います	都市計画課

グループ別対話会（タウンミーティング）でいただいたご意見と回答					2024/12/20 サロン5丁目		
分類	NO.	テーマ	対象地域	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
インフラ・防災・防犯	19	路上駐車対策や駐車場の利用について	高花	野球場を使用する人だと思うんですが、最初の頃はテニスコートのところに停める人がいたんです。そうすると私を呼ぶんですよ。私は防犯指導員をやっているんで、呼ばれちゃうんです。仕方がないから、そこへ行って、ここに停めているとお巡りさんをよぶしかないから、船穂中へ移動してくれと言っています。スポーツ振興課に電話して聞いたら、ここへ来ている人たちは船穂中に停めることになっているということなので。	この件については、他の場所も含めて駐車場を増やせないかというような議論を都市整備課と始めています。なるべく土日を中心に、近隣の住民の皆さんにご迷惑をおかけしないように、努力していきたいと思っています。	-	都市整備課 スポーツ振興課